

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～御船町立御船中学校での実践～



【上益城教育事務所】

【講座のテーマ】

親（保護者・大人）としてスマホの使い方について考えてみよう



活動② アイスブレイク

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）11月20日（月）

場 所：御船町立御船中学校

日 程：6校時（14：50～15：40）

対 象：御船中学校 第1学年3組（1学級）27名

進行役：上益城教育事務所 社会教育主事 金子 正誓

【講座の説明】

身近な道具となっているスマホ等の利用方法について、親の立場になって考えることをとおして、実生活を見つめ直したり、親子が納得する利用上のルールを考えたりして安全で正しい使い方について考える機会とする。



活動③ メイン活動1

【プログラムの実際】

- ① 「親の学び」次世代編の説明
- ② アイスブレイク
（情報機器の使い方を意識するサイコロトーク）
 - ・進行を円滑にするため、トーク内容にプログラムに係る参加者の実態や考えを含める。
- ③ メイン活動1
（スマホの使い方について考える Yes・No クイズ）
 - ・家庭環境等によって判断は分かれ、一つの答えは無いことを確認する。
- ④ メイン活動2
（親と子どもどちらも納得する方法を考えるワーク）
 - ・ある親子の会話を例示して、役割演技を通じて自分事として考えさせる。
- ⑤ グループ協議
（トラブルの事例をもとにした協議）
 - ・トラブルの事例を紹介し、「自分だったら」と考えさせる。
- ⑥ まとめ
（ワークシートに振り返りを記入する。）
 - ・自分だけは大丈夫と考えず、親子とも納得するルールづくりの必要性についておさえる。
 - ・今後も様々な場面で、「将来どんな大人になっていたいか」と考えてほしいことを伝える。



活動④ メイン活動2



活動⑥ まとめ

【実践校の感想】

- （生徒）ルールはやはり決めた方がいい。やめる時刻を決めたり、使わない時の保管場所を決めたりする。
- （生徒）面白い授業だった。まず、今から自分が気を付けたい。
- （教師）良い機会となった。今後は担任等により、第1学年全学級及び他学年でもこのプログラムを実施する。